

薬の種類

口から飲む薬

薬の形の種類

経口投与する製剤	錠剤（口腔内崩壊錠、チュアブル錠、発泡錠、分散錠、溶解錠が含まれる）、カプセル剤（硬カプセル、軟カプセルがある）、顆粒剤（発泡顆粒剤が含まれる）、散剤、経口液剤（エリキシル剤、懸濁剤、乳剤、リモナーデ剤が含まれる）、シロップ剤（シロップ用剤が含まれる）、経口ゼリー剤
----------	---

引用文献:薬剤師国家対策マニュアル 虹本7 薬剤

錠剤

特徴

一定の固形の薬



長所

取り扱いやすく1錠中の成分含量が正確です。

短所

量の微調整が難しい

飲み込みにくい人に、使いづらい

十分な水で服用しなければならない

水の量が足りないと、錠剤が
咽喉部に張り付いてしまい、
潰瘍を起こす原因になること
もあるので注意が必要！！

カプセル剤

特徴

液状や粉状の薬を、カプセルに入れたもの

液状や粉状の薬を、カプセルの元となる成分で包んで作ったもの

長所

薬を覆うため、薬の臭いや味が気にならない。

カプセルの外皮に着色料を入れて色を付け、光弱い薬物を守ることができる

短所

湿度が高すぎても、低すぎても、影響されやすい

カプセルによっては、大きく飲み込みにくい



粉の薬

特徴

散剤:粉末状のもの

顆粒剤:粒状に、作られているもの

1粒の粉の大きさ:散剤>顆粒剤

長所

飲む量を個々に合わせてきめ細かく設定できる

複数の薬を混ぜて、一つにできる

錠剤、カプセルが飲めない子供に飲ませられる

短所

苦味や臭いが、強い散剤は飲み難い

混ぜることで、苦味が増したり、薬の効果が変化することがある



顆粒剤

特徴

散剤よりも粒が大きく、大きさも揃っている薬



長所

水に入れた時に、溶けやすく、固まりにくい

粉がまき散らしにくい

短所

吸湿性が高いので保存に注意が必要

ドライシロップ

特徴

水に溶かして飲むタイプの顆粒状、又は粉末状の薬

糖類か甘味料で甘く味付けられたもの

長所

状況に応じてシロップとしても利用できる。

水薬よりも持ち運びでき、保存性にも優れている。

短所

使用時に調整する手間がかかる

吸湿性が高いので、保存に注意が必要

シロップ剤

特徴

液体の薬で、飲み安くするために甘みや香りをついたもの

長所

子供用に味付けし、甘く飲みやすい

複数の薬混ぜる事ができる場合がある

短所

錠剤や散剤と比べ、保存性が低い

薬によって混ぜると変化が起きてしまうことがある

持ち運びに不便



シロップ剤

参考引用文献

- ・製薬業界転職支援Answers:製薬業界用語辞典 <https://answers.ten-navi.com/dictionary/>
- ・直伝小児の薬の選び方・使い方 第5版